

H28 安中市立磯部小学校 学校評価一覧表①

自己評価（全教職員）：A十分に成果があった B成果があった C少しの成果があった D成果がなかった

(様式1)

羅 針 盤		
評価対象	評価項目	具体的数値項目 (数値目標はすべて100%とする)
I 保護者との連携	1 学校は保護者への連絡をきめ細かく行っていますか。	①「学校や児童の成長の様子がわかる」と答える保護者が100%である。
	2 学校は保護者が学校を理解したり、協力したりしやすい環境を作っていますか。	②授業参観後の懇談会に参加している保護者が100%である。
II 確かな学力	3 学校の授業は、わかる授業になっていますか。	③「授業がわかる」と答える児童が100%である。
	4 進んで学習したり読書したりする習慣が児童に育っていますか。	④家庭学習や読書を、(週平均して) 1日当たり30分以上行っている児童が100%である。
III 豊かな心	5 進んであいさつしたり、はっきり受け答えしたりできる児童が育っていますか。	⑤進んであいさつできる児童が100%である。
	6 いじめのない温かな人間関係が育っていますか。	⑥相手の立場や気持ちを考えた、親切な言動がとれる児童が100%である。 ⑦いじめの発生予防に努め、いじめの解消率が100%である。

方 策
①各種たより等で学校の取り組みや児童の様子を保護者へわかりやすく伝えていく。Webページを充実させ積極的に新しい情報を伝えていく。
②懇談会への参加状況を把握し、懇談会の進め方を工夫したり、内容(話題等)を事前に知らせたりして、保護者の参加意欲を高められるようにする。
③学習指導要領を踏まえ、児童の実態に応じた教科指導を工夫し、「わかる授業」を目指していく。
④児童が話を最後まで聞くよう指導を工夫する。
⑤言語活動の充実を図り、習得や活用を重視した授業を通し、児童が自分で考え判断し、発表できるよう指導を工夫する。
⑥学習の中で、児童が疑問や問題に気づき、考えたり調べたりできるような指導の工夫する。
⑦「家庭学習の手引き」等を活用し、家庭学習や読書を(3年生以上は1日30分以上)習慣化させていく。特に、読書活動を充実させていく。
⑧児童がすすんであいさつをするよう日常のあいさつやTPOにあわせたあいさつの指導を継続的に行う。
⑨児童が集会や授業の始まりなどの時刻を守るよう、教師が率先して励行し継続的に指導する。
⑩学校生活全般で、日常的・継続的に児童に相手の気持ちを考えて親切な言動をとるよう指導する。
⑪友だちと協力して、清掃活動や係活動に取り組めるように指導する。
⑫家でのお手伝いや役割分担が積極的にできるよう働きかける。
⑬定期的に「心のアンケート」などをとるなどして、いじめの早期発見・早期解決に努める。

自己評価①		自己評価②	
自己評価	改善策	自己評価	改善策
A	○学級だよりやWebページ等で学校での児童の様子や活躍を中心に保護者へ伝えていく。	A	○学級だよりやWebページ等で学校での児童の様子や活躍を中心に保護者へ伝えていく。
B	○保護者参加型の懇談会にしたり、事前アンケートをとったりして内容や進め方を工夫して保護者の参加意欲を高める。	B	○懇談会の内容や進め方を工夫したり、事前アンケートをとったりして保護者の参加意欲を高める。
A	○児童の実態に応じて、課題解決的な学習など教科指導の工夫する。	A	○引き続き、児童の実態に応じて、課題解決的な学習など教科指導の工夫する。
A	○教師は児童に「聞く力」を身につけさせるよう授業の工夫する。	A	○引き続き取り組み、家庭でも「聞く」「話す」を意識した生活が送れるよう、学級・学校たより等で啓発していく。
B	○児童が自分の考えを発表できる場面を計画的に設定し、発表に慣れさせる。	B	○授業において、いつも「なぜ？」と問いかけ、言葉で説明できるような機会を設定し、児童に自ら考える力や言葉で表現する力が付くよう努める。
A	○学習の中で、児童が疑問や問題に気づき考えられるような指導過程や場の設定などの工夫する。	A	○引き続き、学習の中で児童が疑問や問題に気づき考えられるような指導過程や場の設定などを工夫する。
A	○学年に応じた宿題の量や質等を考え工夫し、読書を含めた家庭学習の習慣化を図る。	A	○学習ステップアップ・カードを利用したり、子どもの頑張りを褒めたり、励ましたりする場面を保護者に持ってもらうようにする。
A	○「あいさつ運動」を充実させ、学校だけでなく家庭や地域でも挨拶ができるように指導する。	A	○「あいさつ運動」を充実させ、学校だけでなく家庭や地域でも挨拶ができるように指導する。
A	○時間を守ることの大切さを、授業や集会等の場で、繰り返し指導していく。	A	○時間を守ることの大切さを、授業や集会等の場で、繰り返し指導していく。
A	○相手の気持ちを考えた言動ができた児童を積極的に賞賛する。	A	○相手の気持ちを考えた言動ができた児童を積極的に賞賛する。
A	○清掃の方法や清掃の意義について理解させ、毎日真剣に清掃活動に取り組ませる。	A	○清掃の方法や清掃の意義について理解させ、毎日真剣に清掃活動に取り組ませる。
B	○生活科や総合、道徳や学級活動などで積極的に扱い、児童の意識を高めるとともに、家庭への啓発を行う。	B	○家庭学習を学習課題だけでなく、生活に関わる活動としてお手伝いを課題(宿題)として出すようにする。
A	○日常の行動観察や定期的な「心のアンケート」などから、いじめを早期発見・早期解決する。	A	○引き続き、日常の行動観察や定期的な「心のアンケート」などから、いじめを早期発見・早期解決する。

IV 健康 ・体力	7 規則正しい生活をしている児童が育っていますか。	⑧食事（朝食）や睡眠の意味と役割を理解し、規則正しい生活をしている児童が100%である。	④学級活動や保健指導などを通して、児童に早寝・早起き・朝ご飯など、規則正しい生活をするよう指導する。食育の充実に取り組む。	A	○学級活動における指導や学級だより・保健だより等を通して、家庭への啓発していく。	A	○学級活動における指導や学級だより・保健だより等を通して、家庭への啓発していく。
	8 日常的に運動に取り組めるよう、時間や場などの環境を整えていますか。	⑨運動等めあてにむけて根気よく努力する児童が100%である。	⑮児童がねばり強くたくましい子に育つよう、運動等めあてに向けて根気よく努力するよう指導する。	A	○運動関係の行事をきっかけとして、児童が粘り強くたくましい子に育つように、めあてにむけて根気よく努力するよう指導する。	A	○運動関係の行事をきっかけとして、児童が粘り強くたくましい子に育つように、めあてにむけて根気よく努力するよう指導する。
V 安全確保 ・施設設備	9 学校施設の安全管理や避難訓練を徹底していますか。	⑩安全点検を月1回実施し、防犯や避難、救護などを想定した避難訓練を学期1回以上実施し、安全を意識して取り組んでいると答える職員が100%である。	⑯火災、地震、竜巻、不審者の侵入を想定した避難訓練を実施するとともに、毎月の安全点検の徹底を図る。また、配信メール等を活用し、家庭と連携し児童の安全確保に努める。各種防災マニュアル等のさらなる確認、改善をしていく。	A	○防災マニュアルの確認と改善を図っていく。火災、地震、不審者の侵入を想定した避難訓練を実施するとともに、毎月の安全点検の徹底をする。	A	○防災マニュアルの確認と改善を図っていく。火災、地震、不審者の侵入を想定した避難訓練を改善点を生かしながら実施するとともに、毎月の安全点検の徹底をする。
	10 通学路の安全対策をとっていますか。	⑪事故の発生原因を理解し、正しい歩行の仕方や自転車の乗り方ができる児童が100%である。	⑰交通安全指導を定期、随時に、学校、家庭、関係機関と協力して指導の徹底を図る。安全安心ネット等地域との連携を深めていく。	A	○交通安全指導を定期、随時に、教師、家庭、関係機関と協力して指導する。	A	○引き続き、交通安全指導を定期、随時に、教師、家庭、関係機関と協力して指導する。
		⑫安全な登下校（通学路の危険箇所）について子どもと話し合ったり確認し合ったりして、緊急時の対応がとられている家庭が100%である。	⑱自転車教室等や家庭と連携し乗り方の指導を徹底する。	⑰交通安全指導を定期、随時に、学校、家庭、関係機関と協力して指導の徹底を図る。安全安心ネット等地域との連携を深めていく。	A	○自転車教室等を含め、家庭や関係機関と連携し乗り方の指導を徹底する。	A
VI 進路 ・生き方	11 児童が自らの将来について考える機会を設けていますか。	⑬将来の夢や希望について、親子で学期1回以上話し合う機会を設けている家庭が100%である。	⑳道徳や学級活動、学校行事等に関連付け作文を書かせたりして、目標や夢や希望を持たせるようする。また、家庭への啓発も積極的にを行い協力して指導していく。	A	○道徳の時間や学級活動、学校行事等で夢や希望を持たせる内容を積極的に取り入れ、親子で考える機会もつくる。	B	○将来の夢や希望について親は子どもと話し合っているつもりでも、子どもの意識は低いようだ。授業参観、保護者会、お便りなど機会を見て保護者に働きかけていく。
	12 学校教育目標の達成に向け、教職員が一体となって努力していますか。	⑭学校教育目標の達成に向け、教職員が一体となって努力していると答える職員が100%である。	㉑学校教育目標の達成に向け、教職員が一体となって努力できるよう職員の共通理解を図っていく。	A	○学校教育目標の確認を定期的に行い、達成に向けた全教職員が一体となって努力していく。	A	○「チーム磯部」を合い言葉に、職員の多忙感につながらない程度に会議を定期的開催し、情報交換や協力体制を強化する。
VII 組織 ・運営	13 教職員は、設定した自己目標の達成に向け、主体的に日常の教育実践に取り組んでいますか。	⑮教職員は、設定した自己目標の達成に向け、主体的に日常の教育実践に取り組んでいると答える職員が100%である。	㉒自己目標の達成に向け主体的に日常の教育実践に取り組む。教職員個々が、自分の資質や能力を生かせるよう校務分掌等でその責務を果たすように努める。	A	○自己目標の達成に向けた主体的な教育実践に取り組む。	A	○引き続き、自己目標の達成に向けた主体的な教育実践に取り組む。
	14 校内研修は、教師の資質向上と授業改善に結びついていますか。	⑯校内研修は、教師の資質向上と授業改善に結びついていると答える職員が100%である。	㉓教師の資質向上と授業改善に結びつく校内研修に積極的に参加し、その充実を努める。	A	○授業実践を中心に教師の資質向上と授業改善に結びつく校内研修を進める。	A	○3年後の新学習指導要領の全面实施を見据え、その理解だけでなくさらに授業改善に結びつく校内研修を進める。